

「少年イエス」

ルカの福音書 2章41-52節

1

さて、イエスの両親は、過越の祭りに毎年エルサレムに行っていた。イエスが十二歳になられたときも、両親は祭りの慣習にしたがって都へ上った。そして祭りの期間を過ごしてから帰路に付いたが、少年イエスはエルサレムにとどまっておられた。両親はそれに気づかずに、イエスが一行の中にいるものと思って、一日の道のりを進んだ。後になって親族や知人の中を捜し回ったが、見つからなかったので、イエスを捜しながらエルサレムまで引き返した。そして三日後になって、イエスが宮で教師たちの真ん中に座って、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。聞いていた人たちはみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。 ルカ2:41-47

2

両親は彼を見て驚き、母は言った。「どうしてこんなことをしたのですか。見なさい。お父さんも私も、心配してあなたを捜していたのです。」すると、イエスは両親に言われた。「どうしてわたしを捜されたのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当然であることを、ご存じなかったのですか。」しかし両親には、イエスの語られたことばが理解できなかった。それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って両親に仕えられた。母はこれらのことをみな、心に留めておいた。イエスは神と人といつくしまれ、知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。

ルカ2:48-52

3

神のために生きた両親

- 創世記12:1-3
- 年に三度、**わたしのために**祭りを行わなければならない。 出エジプト23:14
- マタイ1:19-25
- 「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりませうように。」 ルカ1:38

4

神のために生きた両親

- 「両親は、主の律法にしたがってすべてのことを成し遂げた。」 ルカ2:39
- 「しかし、**もし彼女に羊を買う余裕がなければ**、二羽の山鳩か、二羽の家鳩のひなを取り、一羽は全焼のささげ物、もう一羽は罪のきよめのささげ物とする。祭司は彼女のために宥めを行い、彼女はきよくなる。」 レビ12:8

5

神のために生きた少年イエス

- 「イエスは神と人といつくしまれ、知恵が増し加わり、背たけも伸びていった。」 ルカ2:52
- 「それからイエスは一緒に下って行き、ナザレに帰って**両親に仕えられた**。」 ルカ2:51
- 「それからイエスはご自分が育ったナザレに行き、**いつもしているとおり安息日に会堂に入り**、朗読しようとして立たれた。」 ルカ4:16

6

神のために生きた少年イエス

- ヨセフ 創世記37:2、41:46
- ダビデ 2サムエル5:4
- モーセ 出エジプト7:7
- マリヤの信仰 「母はこれらのことをみな、心に留めておいた。」 ルカ2:51